

2024年(令和6年)4月10日(水曜日)

富士ニュース

高校会議所が座談会 地域活性化のヒント探る

富士宮高校会議所は、このほど「認知症の方々とのコラボ活動」や「朝霧高原地域の活性化」をテーマとした

座談会を西町レトロ館で行った。それぞれにゲストの取り組みを基に意見交換した。地域活性化のヒント



稲葉さん(上)や坂下さん(下)との座談会＝提供写真

を探る座談会。「認知症の方々とのコラボ活動」については、若年性認知症の人たちの働く場となっている市内の「木工房いつでも夢を」から店長の稲葉修さんを迎えた。

工房では、車椅子に乗ったまま測定できる体重計をはじめ、介護の現場向けの木工製品を製作販売しており、稲葉さんは立ち上げの経緯から歩みをたどった。意見交換では製品のデザイン、普及活用、認知症支援など、さまざまな観点から連携の方策を考えた。

「朝霧高原地域の活性化」については、TRYM代表取締役の坂下康博さんを迎え、朝霧高原エリアリゾート計画などを聞いた。メンバーらは、高校生が参加できるイベントの創出、同会議所の商品の販売、eスポーツの活用などを提案した。